

発議第1号

協議テーマに係る意見書の提出について（Aグループ）

意見書を次のとおり提出するものとする。

令和7年11月16日提出

Aグループ

グループリーダー 水谷 愛理

黒住 真

中田 和希

日置 萌衣

藤原 颯来

安田 俊弘

意見書（A グループ）

高校生の視点から、以下の項目について提案するものです。

記

「高校生議会について」

1. 生徒会や先生から案内されたり、限られた人しか高校生議会のことを知らないので、学校のアカウントとコラボレーションするなどSNSの発信を工夫すること。また、どんなことをやっているかを発信することで、興味を持つてくれる人がいるかもしれない、内容も発信すること。
2. 学生がよく使うSNSアプリを使って発信すること。ポスターにQRコードをつけてアクセスしやすくしたり、公民の授業など、生徒が平等に情報を受ける機会に高校生議会を案内することで、広く高校生に知ってもらうように工夫すること。
3. 印象に残るようなポスターになるようにデザインを工夫すること。例えば、流行語を取り入れるなど、参加したくなるようなキャッチフレーズをつくること。また、テーマが決まっていると参加しやすいと考えるので、テーマを記載すること。
4. 議会の出前授業は、映像で学習したり、クイズをしたり、ゲームをすることで興味を持って取り組める内容にし、中高生の間に一回は履修できるようにすること。
5. 高校生議会の開催時期については、テスト期間が終わった週末に開催するなど、テスト期間と重ならないように配慮すること。
6. 高校生議会OB会のような高校生議会のフィードバックの機会を設けること。ただし、参加期間が長くなると参加するハードルが上がる所以、任意にする。

「魅力あるまちづくりについて」

1. 年代によって集りたい場所の種類が違うので、利便性のいい場所に銭湯とカフェ、図書館、フリースペースのような、どの世代も利用しやすい施設を作ること。

2. SNSで映えるスポットがある、学生も行きやすいカフェをつくること。
3. 新しい図書館を作ることや中央通りの整備など、市がやっていることを高校生が知らないので、もっとSNSを利用して効果的に宣伝すること。
4. 大四日市祭をもっとぎやかなイベントにすること。大四日市祭に人は多いが、諏訪神社の四日市祭は人が少なく、四日市市の伝統を学ぶ機会がないので増やすこと。
5. 公共交通を充実させること。三岐鉄道や近鉄湯の山線は本数が少なく不便なので、使い勝手のいいように本数を増加させる。また、三岐鉄道はICカードの運用することと、他にも自転車が走りやすい安全な道をつくること。

以上、意見書を提出します。

令和7年11月16日

四日市市議会高校生議会

四日市市議会宛